

レファレンスだより 2018年1月号 No.182

福岡市総合図書館 図書サービス課 相談係 ☎092-852-0632

図書館では、情報を求める利用者に対して、図書館の資料と機能を活用して調査のお手伝いをする「レファレンス・サービス」を提供しています。法律相談や物品鑑定などお答えできない質問もあります。「レファレンスだより」は、実際に寄せられた質問について、総合図書館が回答した事例の一部を紹介する情報誌です。

■レファレンス受付件数(2017年10月分)

参考	人文	社会	自然	郷土
16	1239	284	269	429
国際	国連	こども	ホ・ピューラ	合計
545	52	778	1032	4644

(開館日 24日 一日平均 194件)

今月の特集!



2018年、新しい年がスタートしました。今年の干支は「戌」。戌の日に安産祈願をするように、古来、犬は安産の象徴としても大切にされてきた動物。そんな縁起のいい犬にあやかって、皆さまにとって今年一年が、**ワン**ダフルな年でありますように…。



神社や寺社でお出迎えしてくれる犬

『日本全国獅子・狛犬ものがたり』

(上杉 千郷/著 戎光祥出版 2008年)

『獅子と狛犬：神獣が来たはるかな道』

(MIHO MUSEUM/編 青幻舎 2014年)

『狛犬事典』

(上杉 千郷/著 戎光祥出版 2001年)

【狛犬】

神社や仏寺の門前に置かれている獣形の像。必ず左右一対で置かれているが、平安時代には、左右別々の霊獣で「獅子」と「狛犬」だったそう。一般的には、口を開けている方が獅子で、口を閉じ、角が生えている方が狛犬。



【忠犬ハチ公】

飼主が死去した後も約10年間に渡り、東京渋谷駅前で飼主の帰りを待ち続けた犬。渋谷駅前に建てられたハチの銅像は渋谷のシンボルとして有名。ハチの80回目の命日2015年3月8日に東京大学農学部に新しい銅像が完成した。

人と犬のステキな関係

『東大ハチ公物語』 (一ノ瀬 正樹/編

正木 春彦/編 東京大学出版会 2015年)

『全国の犬像をめぐる：忠犬物語45話』

(青柳 健二/著 青弓社 2017年)

『忠犬はいかに生まれるか』

(飯田 操/著 世界思想社 2013年)





こんな質問がありました！



Q：大相撲の横綱のまわしにつける「しで」の作り方を知りたい。(人文科学)

■相撲の事典で調べる

『相撲大事典 第2版』(金指 基/原著 現代書館 2007年) 2階 C13 R788.1/カ

「しで(垂)」の解説に、「横綱に挟んで下げる、切れ目を入れて折った長方形を連ねた白紙のこと」とある。「しで」の漢字表記は「紙垂」「四手」もある。

『大相撲の事典』(沢田 一矢/編 東京堂出版 2000年) 2階 C13 R788.1/サ

「しで(幣・四手)」は「横綱に挟んで化粧廻しの前へ下げる幣」で、幣とは「神前に供える玉串、またはしめ縄などに垂れ下げる紙」としている。

■神道の本で探す

『これだけは知っておきたい神事の基礎知識』(藤井 正雄/編 講談社 1987年) 閉架書庫

神棚の祀り方・神具について書かれた部分に、「注連縄と紙垂」の解説がある。半紙を切って紙垂を作る方法が図で示されている。

『生活(クラシ)の中の神事：日本人の心のふるさと』(田島 諸介/著 神宮館 1985年) 2階 B8 170/タ

「お正月の神事」についての部分で、「しめ縄と四手」の意味するところを『古事記』や『日本書紀』に書かれた由来から説き起こしている。「四手の切り方」の図も載っている。

Q：認可外保育施設を開業するにあたって、参考になる資料はないか？(社会科学)

■保育所についての本を探す

『最新保育サービス業界の動向とカラクリがよ〜くわかる本』

(大嶽 広展/著 秀和システム 2015年) 分館所蔵 369.4/オ

『誰も教えてくれない<保育園ビジネス>の始め方・儲け方』

(井出 利慶/著 ぱる出版 2010年) 1階ポ66 369.42/イ

『保育所運営ハンドブック 平成25年版』

(中央法規出版編集部/編 中央法規出版 2013年) 2階 D6 R369.42/ホ

『保育所運営マニュアル』(網野 武博・迫田 圭子/編 中央法規出版 2007年) 2階 D17 369.42/ホ

『小規模保育のつくりかた』(貞松 成/著 あっぷる出版社 2014年) 2階 D17 369.42/サ



■国立国会図書館「レファレンス協同データベース」で検索する

「託児施設、保育所を開業するにあたって参考になる資料を紹介してほしい」という類似事例があり、上掲の『誰も教えてくれない<保育園ビジネス>の始め方・儲け方』『最新保育サービス業界の動向とカラクリがよ〜くわかる本』『保育所運営マニュアル』が紹介されている。

■インターネットで調べる

ふくおか子ども情報>子育て情報検索>預けたい・学校を探したい>認可外保育施設(企業主導型保育事業を含む)>認可外保育施設を開業している方、開業をお考えの方へ
【<http://www.city.fukuoka.lg.jp/kodomo/childcares/detail/186/index.html>】

1人でも乳幼児の保育を行う施設は、事業開始日から1か月以内に福岡市への「届出」が必要。福岡市で認可外保育施設を開業する際に必要な届出のための各種様式一覧や、認可外保育施設への助成について確認することができる。

Q：ヨモギの葉を採取するのに適した時期はいつか。(自然科学)

■薬草として使う

『薬草カラー大事典：日本の薬用植物のすべて』

(伊沢 一男/著 主婦の友社 1998年) 2階E2 R499.87/4

葉の採取時期について、「6～7月ごろ採取し、日干しに」とある。

『薬になる植物図鑑：自分で採れる』(増田 和夫/監修 柏書房 2006年) 2階E2 R499.87/4

「6～7月、葉を採取して日干しに」とあるのは上と同様だが、「若芽や新芽、茎先の柔らかい部分は食用になる」と、料理に使う方法にも触れている。

■食用として使う

『食べて健康!よもぎパワー：ごはんからおかず・汁もの・おやつ・調味料まで』

(大城 築/著 農山漁村文化協会 2007年) 1階ポ65 498.5/4

料理に使う場合は「春(3～5月)のものがやわらかく、香りもよく、おいしくいただける」とあり、家庭でできるよもぎレシピも多数掲載。ただし、「成長するほど薬効成分も増す」ので、よもぎ茶にしたり調味料に漬け込んで薬効を抽出するには夏や秋のものがよいと書かれている。

『よもぎ健康法：食べて治す緑の「野菜」のおいしい効力』

(大城 築/著 主婦の友社 1987年) 閉架書庫

栽培法と採取法を書いた章があるが、「品種や用途によって」つむ時期・つむ部分が違っているといる。薬用での使い方、料理のレシピともに掲載がある。

Q：日本語の勉強をしたいので、中国語と日本語の対訳が載っている歌の本が見たい。(国際)

■中国の歌を日本語に訳したもの

『覚えておきたい中国語の歌』(呉 越華/著 中経出版 2005年) 分館所蔵 821/3 CD付

所収曲：「月亮代表我的心」「夜来香」「草原情歌」「茉莉花」など14曲

『北京放送 中国語で歌おう今週のうた』(北京放送日本語部/編 東方書店 1995) 閉架書庫

F100JPN/767.8/PE

所収曲：「康定情歌」「小城的歌」「大海啊，故乡」など40曲

■日本の歌を中国語に訳したもの

『中国語で歌おう！カラオケで学ぶ中国語』(ファンキー末吉、古川 典代/著 アルク 2000年)

1階ポ77 820/フ

所収曲：「北国の春」「時の流れに身をまかせ」など6曲

『中国語で歌おう！J-POP編』(松尾 隆、加藤 徹/著 アルク 2007年) 1階ポ77 820/チ

所収曲：「桜坂」「真夏の果実」など6曲

『中国語で歌おう！日本の心の歌編』(古川 典代、李 広宏/著 アルク 2007年) 1階ポ 820/チ

所収曲：「ふるさと」「七つの子」「冬景色」など9曲

■中国出版の歌曲集で、日本の歌を中国語に訳しているもの(対訳ではない)

『宝宝爱唱的歌』(肖 雪儿/著 四川文艺出版社 2000年) 2階A17 F102CHI/767.7/XI

所収曲：「櫻花(さくらさくら)」「幸福拍手歌(幸せなら手をたたこう)」「阿童木之歌(鉄腕アトム)」

※「2階C1」などと表記しているものは総合図書館の棚番号です。また、「813.1」などと表記しているものは分類番号で、数字の左にRが付いている資料、郷土資料は貸出ができませんので、館内でご利用ください。本によっては、分館も含めて複数冊所蔵しているものがあります。



今月の一冊！

『明治時代史大辞典』全4巻

(宮地 正人・佐藤 能丸・櫻井良樹／編 吉川弘文館) 2階 C10 R210.6/1

2011年から2013年にかけて刊行されたこの辞典は、明治時代の事柄や人物、約9500項目を解説したものです。第4巻は「補遺・付録・索引」を収録。第4巻の付録は明治時代の職制や人事、統計などの基本資料と前期、中期、後期それぞれの時期に作られた表で構成され、調べものにとっても役立ちそうです。政治家や芝居役者などの様々な番付も興味深いです。2018年は、明治元年（1868年）から150年目の年に当たります。この辞典で明治時代をより深く理解できそうですね。

使ってみました ⇒明治時代にアメリカ合衆国大統領グラントが来日した件について調べる

人名索引を引くと「グラント，ユリシーズ」の中に「グラント来日」とあり、掲載巻と頁が分かる。1868年から第十八代大統領（共和党）をつとめたグラントは、政界引退後の77年5月、夫人と子息を連れて世界周遊旅行にでかけ、欧州諸国・清国を經由したのち、明治12年（1879）六月、長崎に到着、二カ月半にわたって滞日し、東京・横浜・箱根・日光などを訪れている等のことが分かる。



総合図書館 専門図書 新刊案内

新着本の一部を紹介します。読んでみたい本がありましたら、気軽にお尋ねください。

	書名	著者名	出版者	請求記号	タイトルコード
人文	G・E・モリソンと近代東アジア ：東洋学の形成と東洋文庫の蔵書	東洋文庫／監修 岡本 隆司／編	勉誠出版	018.22/ジ	1000001626217
	巫者のいる日常：津軽のカミサマから 都心のスピリチュアルセラピストまで	村上 晶／著	春風社	163.9/ム	1000001614313
社会	仮想通貨の時代	マイケル・J.ケーシー ポール・ヴィニャ／著	マイナビ出版	338/ウ	1000001625894
	甘みの文化	山辺 規子／編	ドメス出版	383.8/7	1000001632292
自然	低周波音 ：低い音の知られざる世界	土肥 哲也／編著	コロナ社	424/ト	1000001632692
	科学知と人文知の接点 ：iPS細胞研究の倫理的課題を考える	山中 伸弥／監修	弘文堂	491.11/カ	1000001630204



今月の展示 ～総合図書館2階 展示図書のご案内～

毎月4つの部門でテーマ展示をしています。貸出も可能ですので、是非ご覧ください。

《人文科学》 **日本の神話の世界**

《社会科学》 **年中行事**

《自然科学》 **化粧品**

《国際》 **韓国を巡る**